

# ていちゃん・ずいくん・宝箱

～地域で保障する子どもたちの学習と豊かなふれあい～

## ◆活動の目的・理念

- 放課後学習の習慣をつける。
- 異年齢の子ども同士豊かなふれあいを保障する。
- 指導者とのかわり合いの経験を通して、子どもたちの社会性を身に付ける。

活動場所	禎瑞公民館 禎瑞小学校	対象学校区名	禎瑞小学校	活動のべ 日数	22 日	子どもの平均 参加人数	23 人/日
------	----------------	--------	-------	------------	------	----------------	--------

## 取組の概要

### <主な取組内容>

#### ● 学校の勉強の復習をしよう。

落ち着いた雰囲気の中で集中して勉強しています。自主的な学習態度を重んじ、指導員の先生は「見守り重視」です。また、指導員自らが行う『英語教育の時間』も大変充実しており、児童や保護者にも評判です。

#### ● 元気いっぱい活動しよう。

勉強が済めば、思いっきり体を動かす時間です。飛び箱やボールなど、学校の器具を活用することはもちろん、風船やシャボン玉など、学校では経験できない用具を使って仲良く楽しく元気いっぱい活動しています。また、低学年の学習が終わって楽しい活動に移る頃、高学年が学習に現れ、引き継ぎもスムーズです。

	時間帯	活動内容
月	～	
火	～	
水	～	
木	14:00～17:00	補充学習・交流スポーツ・読書など
金	～	
土	～	

### 児童の感想

- ・ていちゃんずいくんでしゅくだいやじしゅべんきょうができてうれしいです。わからないときは先生やこうがくねんの人がおしえてくれます。
- ・先生のえいごのじかんがたのしみです。がいこくの人になったきぶんになります。
- ・いまはこうみんかんがつかえないのでたいいくかんでかつどうするのがおもしろいです。



(学習をあたたく見守る)

### <特色ある取組>

#### ● 勉強しっかり、遊びはのびのび

発足当初は、子どもたちの放課後の学習習慣の確立を第一の目標に考えていました。

児童の下校時間に差があるため、まずは勉強を行っています。そこでは基本的に同学年の子どもたちが集中して進んで学習し、活動推進員が見守ったり、アドバイスしたりしています。学習が済むと、今度は学年入りみだれて楽しく交流ゲームなどで思いっきりはしゃぎます。勉強は同学年でしっかりとていねいに、遊びは異学年交流でのびのびと、といった活動のメリハリが特徴の教室です。



(勇気を出してチャレンジ)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 活動も2年目となり、活動も無理なく規律正しく行われている。保護者にも大変好評で、本校の低学年児童の半数が加入している。また、ほとんどが2年連続のリピーターである。
- 「放課後はまず勉強してから。」といった児童の学習習慣の確立に、大きな力となっている。

### 【課題】

- 本年度開始当初、放課後児童クラブの児童が「今日はどちらに行けばよいか」と迷うことがあった。そのため、放課後子ども教室の当日の朝、保護者が必ず児童に対して放課後の動きを伝えていただくよう、お願いする文書を作成し、周知徹底した。